

科 目 名
政治学Ⅰ Political ScienceⅠ

2年 前期 2単位 選択

井 芹 浩 文

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1)(2), 2-(3), 3-(4)
 情報教育目標との対応：NIE活用による情報リテラシーの強化
 建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修/選択の別	授業時間
A	A1	建築総合コース	選択	22.5時間
		建築計画コース		
		建築構造コース		

【概 要】

「ニュースで見る政治と社会」をテーマとして、政治とは何かを考える。2009年には自民党から民主党への政権交代が実現したが、2010年は7月参院選を天王山として政治決戦の年を迎える。政治家と国民という二つの政治主体が交錯する選挙という場でのドラマを通して民主主義の現状・問題点に迫るほか、鳩山政権の命運および政権を失った自民党の動向も分析する。

【到達度目標】

- (1) 新聞で頻繁に登場する政治の基本用語、キーワードを理解させる。これらを通じてより難しい政治学の基本概念にも触れるようにする。
- (2) 新聞のスクラップ・ブックを作ることで、情報収集の仕方など社会に出てから必須とされる情報リテラシーを得られるよう訓練する。
- (3) 就職試験で出される「時事問題」「一般常識」への実力を身につける。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① オリエンテーション	政治学、社会科学一般の学び方
② 鳩山政権6カ月	2009年9月に発足した鳩山・民主党政権はどういう経過をたどってきたか。実績と懸案を検討する
③ 施政方針演説	鳩山首相が目指す政治目標は何か。施政方針演説を検討することを通じて鳩山内閣が取り組もうとしている内政・外交の課題を追う
④ 代表質問	施政方針演説に対する与野党の代表質問を通じて、野党・自民党の追及ポイントを探り、現在の政治問題が何かを知る
⑤ 国民投票法	憲法改正手続きを定めた「国民投票法」が5月18日施行（実施）される。国民投票の仕組み、与野党の憲法改正に向けた動きを整理する
⑥ 世界核安保サミット	オバマ米大統領が呼びかけた「核のない世界」に向けて開かれる「世界核安保サミット」の課題と核兵器問題の展望を探る
⑦ 普天間基地問題	鳩山首相が米側に約束した普天間基地の移設問題で、どのような結論が出たか。これまでの問題と今後の課題は何か
⑧ 参院選の仕組み	非拘束名簿式比例代表制（2票制）など参院選挙制度の仕組みとともに、過去の参院選を振り返る
⑨ 参院選の動向	2010年夏に予想される参院選に向けた民主党、自民党など各党の取り組みと選挙の焦点を探る
⑩ 世論調査	選挙情勢を知る上で欠かせない世論調査の歴史と仕組み、「世論調査政治」と言われる世論調査重視の選挙戦の功罪
⑪ カナダ・サミット	世界経済を話し合う主要7カ国首脳会議（G7）と世界経済首脳会議（G20）で何が話し合われるか。世界政治の枠組みも含めて
⑫ スクラップ作成	新聞を素材にして各自が選んだテーマに沿ってスクラップ・ブックを実際に作成する（図書館6階大会議室）
⑬ スクラップ・レビュー	各自が作成したスクラップ・ブックを材料にして「人物名」「発言」を抽出するとともにクロノロジー（年表）を作成する
⑭ 参院選結果	民主党政権の是非を問う参院選では与野党が全面対決するが、有権者の審判の結果はどう出たか
⑮ 前期まとめ	前期講義内容を俯瞰し総括する
⑯ 定期試験	

【授業方法】

毎日の講義の冒頭に「講義レジュメ」を配る。講義レジュメ（要約）は、その日の講義内容の概略を示すとともに、その穴あき部分に講義内容を書き込むことで一層の理解を深める。

出席票と別個に配る質問票に、その日の講義で注目した「キーワード」と「質問・意見」を書く。
 質問に対しては次回の授業時間に回答することで、講義のフィードバックを行う。

【学習到達度の評価】

- 1) 学習到達度目標に掲げた政治の基本用語、重要な概念に対する理解度が深まったかどうかは質問票に書いた「キーワード」によって判定する。
- 2) 新聞のスクラップ・ブック作製・提出によって、自ら情報を収集、分類、整理する意欲と能力があるかを評価する。
- 3) 定期試験では講義内容全体に対する理解と問題点の正確な把握を問う。

【評価方法】

- 1) 質問票に書いた「キーワード」によって講義内容への理解度を判定し、点数を与える（1回につき最高2点、計30点）
- 2) 自分で決めたテーマに沿って新聞のスクラップ・ブックを作る。提出点を与える（10点）
- 3) 自分で決めたテーマに沿って新聞のスクラップ・ブックを作る。提出点を与える（10点）定期試験での配点は残り60点とする。
- 4) 出席が半数（8回）以上あって合格点（60点）に達しない場合は、別途、レポート（60点満点）提出によって再試験に代える。

【関連科目】

2年：政治学Ⅱ（内容的な重複はないが、政治学Ⅰだけの履修でもよい）

【教科書・教材】

レジュメをその都度、配布する。

【参 考 書】

井芹浩文 著『憲法改正試案集』（集英社新書）

【履修上の注意】

- ・新聞、特に政治・国際ニュースを伝える1～3面に日ごろから目を通すこと。
- ・テレビのニュース報道も時に応じて聴取すること。
- ・分からない時事用語があったら用語事典やインターネットで積極的に意味を調べること。

【オフィスアワー】

火曜日から金曜日の昼休み（12:00～1:00）に本館3階研究室にて講義内容あるいは政治に関する質問を受け付ける。授業時間外であれば、その他の時間の訪問も受け付ける。